

## ACL 操作資料

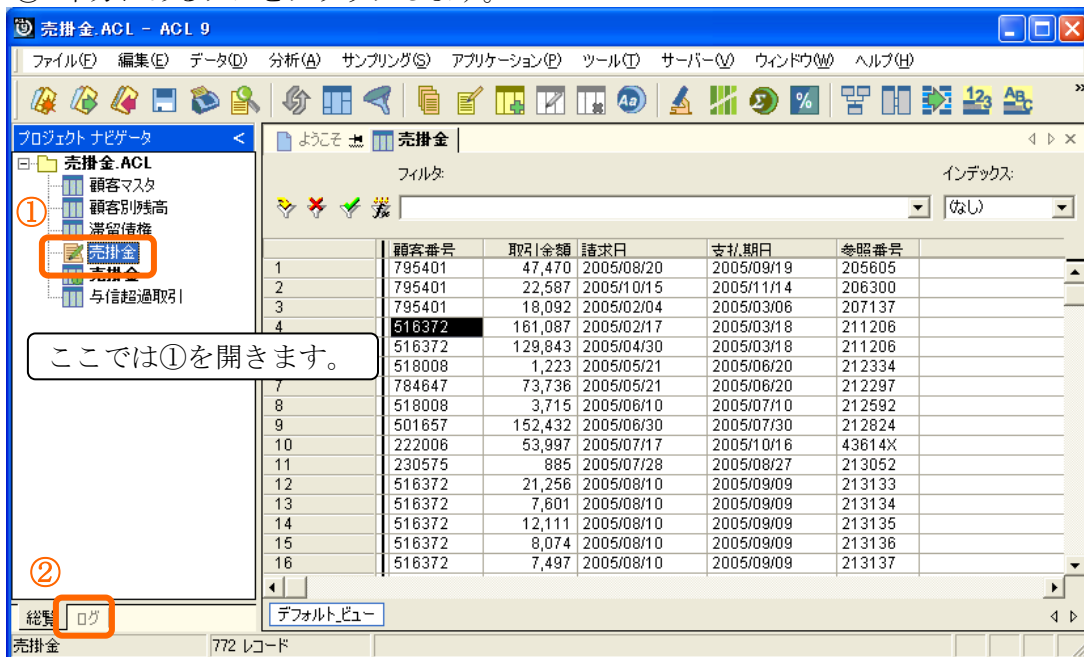
(使用環境: Windows XP SP3, ACL v9.1 Desktop Edition)

### [ログからのスクリプト作成]

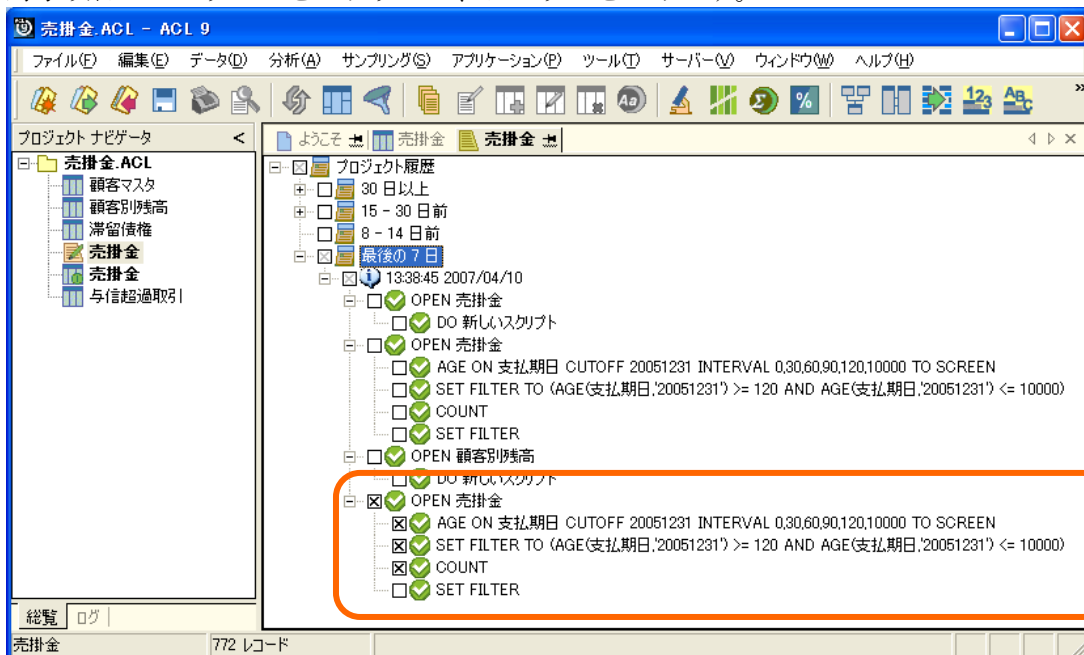
本資料では、ログを使用してスクリプトを作成する手順について説明します。これにより、定期的に行う作業を自動化できます。なお、作業手順の説明は ACL で一連の分析作業が終わり、実行内容がログに記録されているものとします。

#### <作業手順>

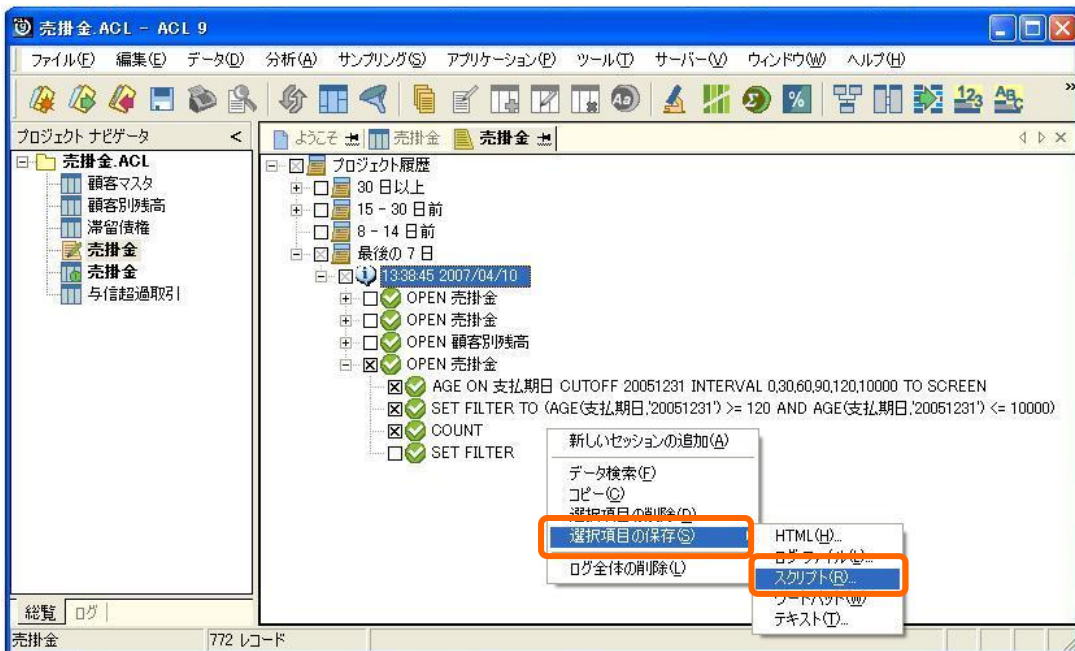
1. プロジェクト ナビゲータにあるログを開きます。
  - ① 鉛筆マークが付いたアイコンをダブルクリックします。
  - ② 下方にあるタブをクリックします。



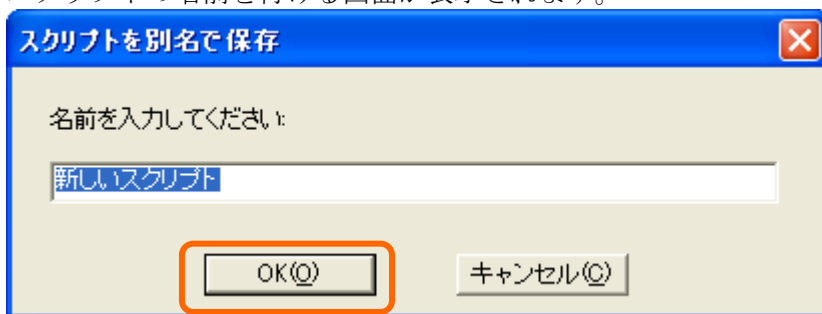
2. 対象項目の左ボックスをクリックし、チェックをつけます。



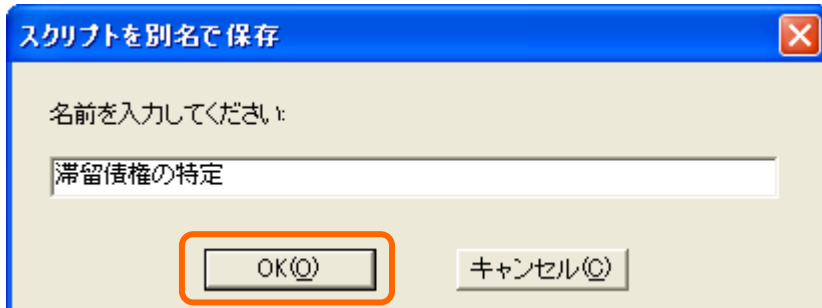
3. 画面上で右クリックし、ショートカットメニューを開きます。  
メニューから [スクリプト] を選択します。



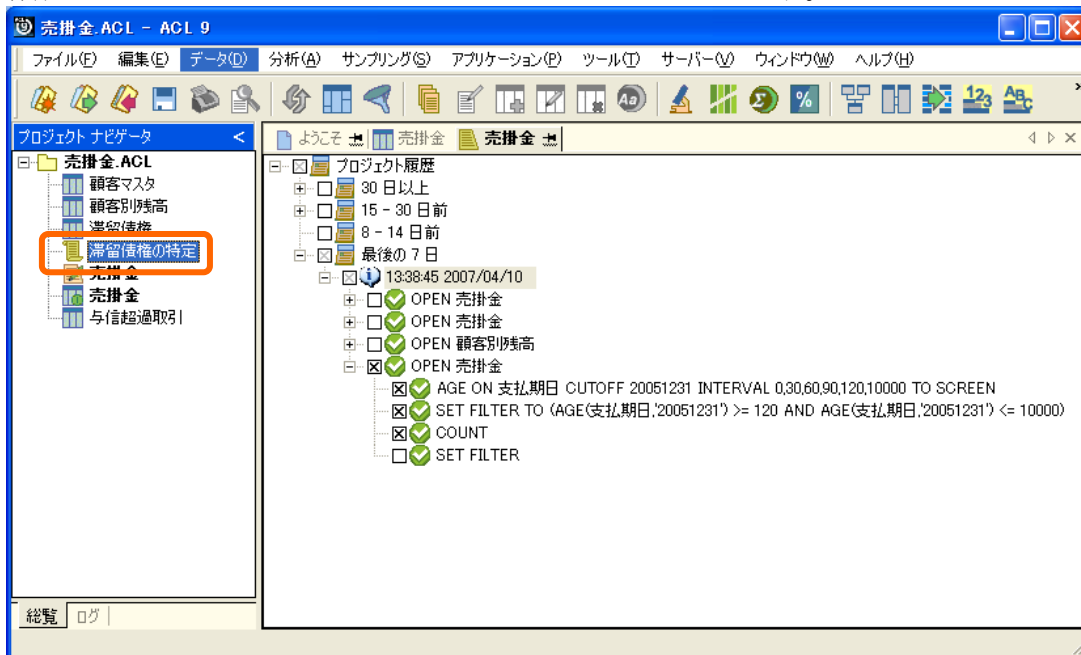
4. スクリプトの名前を付ける画面が表示されます。



任意の名前を付けて [OK] をクリックします。  
ここでは「滞留債権の特定」と名前を付けます。

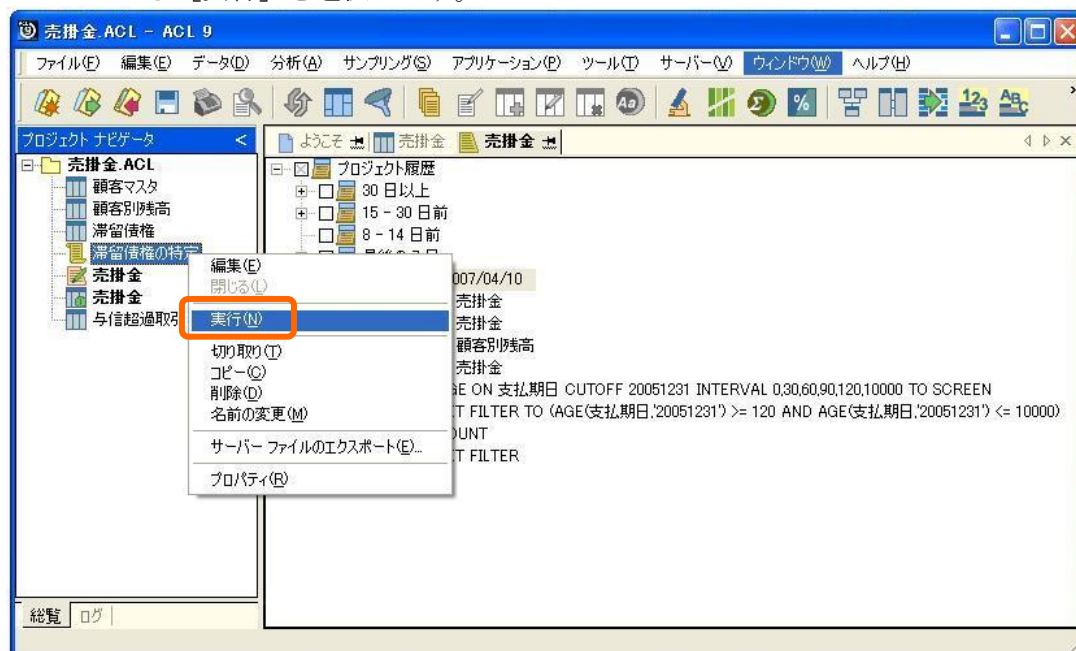


5. 作成したスクリプトがプロジェクト ナビゲータに追加されます。



### <実行手順>

1. 作成したスクリプトを右クリックし、ショートカットメニューを開きます。  
メニューから [実行] を選択します。



2. スクリプトが実行されます。実行結果を確認しましょう。

作業は以上です。